

## 大垣共立為替相場速報

### 1. 前日の海外市場と今朝の東京市場の相場動向

|               | USドル/円          | ユーロ/円           | ユーロ/ドル          |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 前日の東京市場 17:00 | 104. 32-34      | 124. 43         | 1. 1926         |
| 前日の海外市場レンジ    | 104. 22-104. 33 | 123. 95-124. 46 | 1. 1885-1. 1934 |
| 本日の東京市場 9:00  | 104. 25-27      | 124. 17         | 1. 1910         |

#### 【主な材料】

(海外) ECB 議事要旨 「12月会合で金融政策手段の再調整が必要」  
米国市場休場

#### 【コメント】

昨日の東京時間は、特段材料の無いなか、ドル/円は104円台半ばから前半にかけて方向感無く推移した。

海外時間に入ると、欧州株の下落や ECB 議事要旨の公表を控えるなか、ユーロ売りの動きとなったが、対通貨としてドル・円ともに買われたために、ドル/円への影響は限られた。公表された ECB 議事要旨の内容からは景気下支えに向けた追加緩和策に対して、ECB 高官らで幅広く合意されたと確認されたが、市場では相応に織り込まれていたことから反応は限られた。その後は感謝祭のために米国市場が休場であったことから市場参加者が限られるなか、ドル/円は104円台前半を動意に乏しく推移しこの日の取引を終えた。

### 2. 本日の東京市場から海外市場にかけてのUSドル/円予想レンジ

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 本日の予想レンジ (単位: 円) | 103. 70-104. 50 |
|------------------|-----------------|

#### 【主な材料】

(海外) シュナーベル ECB 専務理事 発言  
米国市場短縮取引

#### 【コメント】

昨日公表された ECB 議事要旨では、12月会合での追加緩和策に対して ECB 高官らの間で幅広く合意を得ていることが確認された。今月中旬にラガルド総裁は、追加緩和策では緊急債券購入と長期資金供給が柱となる旨の発言をしていることを踏まえると、今後は具体的な資金供給量に注目が集まろう。結果、ユーロが売られ易い地合いとなると推察されるが、対通貨としてドル・円ともに買われることでドル/円への影響は限定的となろう。また本日は ECB 高官の発言を予定しているが、発言内容に追加材料は確認されず、市場の反応は限られるとみる。

また、本日は感謝祭明けで米国市場は短縮取引となり、市場参加者は限られるために、ドル/円は動意の乏しい展開となろう。

以上より、本日のドル/円は横ばい推移を予想する。(KI)